

森から見る／考える 工芸とアート

令和8年度京都府地域展開プロジェクト（中丹・南丹）

PART1

森のフィールドワークとワークショップ

「森から見る工芸

—素材から道具が生まれるまで— @ 京丹波町

9月19日 土、20日 日

各日とも 10:00 - 16:00

雨天の場合は、9月21日（月・祝）、9月27日（日）に順延

会場 ウィードの森（京都府立須知高等学校内 学校林）

講師 工芸の森／高室幸子、高室久志

PART2

展示／ワークショップ／トーク

「町から考えるアート

—道具がアートに変わるとき— @ 福知山市

10月24日 土 - 11月15日 日

11:00 - 16:00

会場 シンマチサイト（福知山市新町商店街内 旧さいとう家具店）

アーティスト UP2／
石井潤一郎、梶原瑞生、おーなりりゅうじ、太田恵以

主催 京都：Re-Search 実行委員会（京都府、福知山市、京丹波町ほか）



PART1

森のフィールドワークとワークショップ

「森から見る工芸 —素材から道具が生まれるまで—」@ 京丹波町

工芸の森

工芸の「藝」という旧漢字は、人が木の苗を捧げ持って植える姿を表した象形文字だと言われる。私たちはこの文字に、人が何かをつくり出すことの原初的な姿を見る。『工芸の森』とは、植える・育てる・いただく・つくる・つかう・なおすという循環を実践しながら、森の手入れや素材の採集、加工、ものづくりを通じて、素材が生まれる環境と、それを支える人々の営みとの関係性を身体を通して探究する活動の総称である。森を育むこととモノを作ることが一続きに営まれる社会のあり方を探りながら、平安京創設の際に木材を供給した素材の源流ともいえる、京都市京北地域を中心に活動を展開している。 <https://www.forest-of-craft.jp/>

講師プロフィール



工芸文化キュレーター
工芸の森・一般社団法人
パースペクティブ代表
高室幸子
(たかむろ・さちこ)



木作家、ダンサー
高室久志
(たかむろ・ひさし)

PART2

展示／ワークショップ／トーク

「町から考えるアート —道具がアートに変わるとき—」@ 福知山市

UP2（アップ・トゥー）

UP2の前身である URUSHI PROJECT は、サイト・スペシフィックなインスタレーションを制作する現代美術作家・石井潤一郎、漆をはじめとする天然資源に対して技法や用途にとどまらない造形的アプローチを試みる漆芸家・おーなりりゅうじ、音楽と記号の再構築に関心を持って活動する梶原瑞生によるアート・コレクティブである。2020年より京都府福知山市夜久野地域に継承される漆掻きを主題に、自然循環と大量消費社会の関係を問い直す作品制作やリサーチを継続し、国内外で発表してきた。2026年には、身体表現を通して自己と他者の関係性を探求する太田恵以を新たなメンバーに迎え、UP2 (the second phase of URUSHI PROJECT) として活動を開始。インスタレーション、映像、音楽の実践、身体表現、工芸的手法を横断しながら、人間・自然・素材・文化の関係性を再考するプロジェクトを展開している。 <https://urushiproject.com/>

アーティストプロフィール



美術作家
石井潤一郎
(いしい・じゅんいちろう)



美術作家
梶原瑞生
(かじはら・みずき)



漆芸家
おーなりりゅうじ



美術作家
太田恵以
(おた・けい)

PART1 会場 MAP



PART2 会場 MAP



主催 京都：Re-Search 実行委員会（京都府、福知山市、京丹波町ほか）
協力 福知山市丹波生活衣館、福知山市治水記念館、京丹波町ふるさと体験資料館、京都府立須知高等学校
助成 令和8年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業
第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波記念

京都の豊かな自然は、漆芸や木工、陶芸、染織など多彩な工芸文化を育み、私たちの暮らしを支えてきました。木や竹、漆、土といった素材は、森や里山、水の循環の中で育まれ、職人たちの確かな技によって暮らしの道具や美しい作品へと姿を変えます。近年では、こうした伝統的な素材や技術を活かした新たなアート表現にも注目が集まっています。

本プロジェクトでは、中丹・南丹地域のうち、福知山市と京丹波町を舞台に、森とアートに目を向けるさまざまな体験を通して、それらの背景にある自然の恵みや暮らしの営みに触れます。工芸を軸に自然、暮らし、アートのつながりを見つめ直す、アートプロジェクトならではの学びと発見を、ぜひお楽しみください。

地域展開プロジェクトとは

南北に長い京都府の各地域の多様な文化資源をアートの視点から捉え、価値や魅力の再発見によって地域へのまなざしを育むアートプロジェクト。誰もが主体的に文化芸術活動に参加できる環境づくり、シビックプライドの醸成とともに、文化芸術を通じて地域に活力を生み出す好循環の創出を目指しています。

イベント一覧

PART1 森から見る工芸—素材から道具が生まれるまで— @ 京丹波町

◆ 9月19日（土）、9月20日（日）／森のフィールドワークとワークショップ

PART2 町から考えるアート—道具がアートに変わるとき— @ 福知山市

◇ 10月24日（土）17:00～19:30 / オープニング交流会

◇ 10月24日（土）17:00～、10月31日（土）14:00～ / アーティストトーク

◆ 10月25日（日）① 10:00～12:00 ② 14:00～16:00 / ワークショップ「道具がアートに変わるとき」

◆ 11月1日（日）14:00～15:30 / トークイベント「グリーンな暮らし」

◆ 11月15日（日）14:00～15:30 / トークイベント「工芸の思考を拡張する」

いずれも 8月10日（月）より受付開始

※先着順。定員になり次第締め切ります。

◆ 印のイベントのお申込みはこちらから

お問合せ／お申込み

E-mail : soudan.bungei@pref.kyoto.lg.jp

TEL 075-414-4287（平日 9:00-11:30、13:30-17:00）



参加者募集
連続参加も大歓迎

予告 展覧会開催のお知らせ

PART3 展覧会 森から見る／考える「工芸とアート」(仮)

本展では、森から工芸、アートへのつながりを読み解く作品の展示を通じて、環境と人、生活、アートの循環について考えます。

会期 2027年1月16日（土）～31日（日）予定

会場 THE TERMINAL KYOTO（ザターミナルキョウト、京都市内）

詳細はこちら



ウェブサイト
KYOTOHOOP

